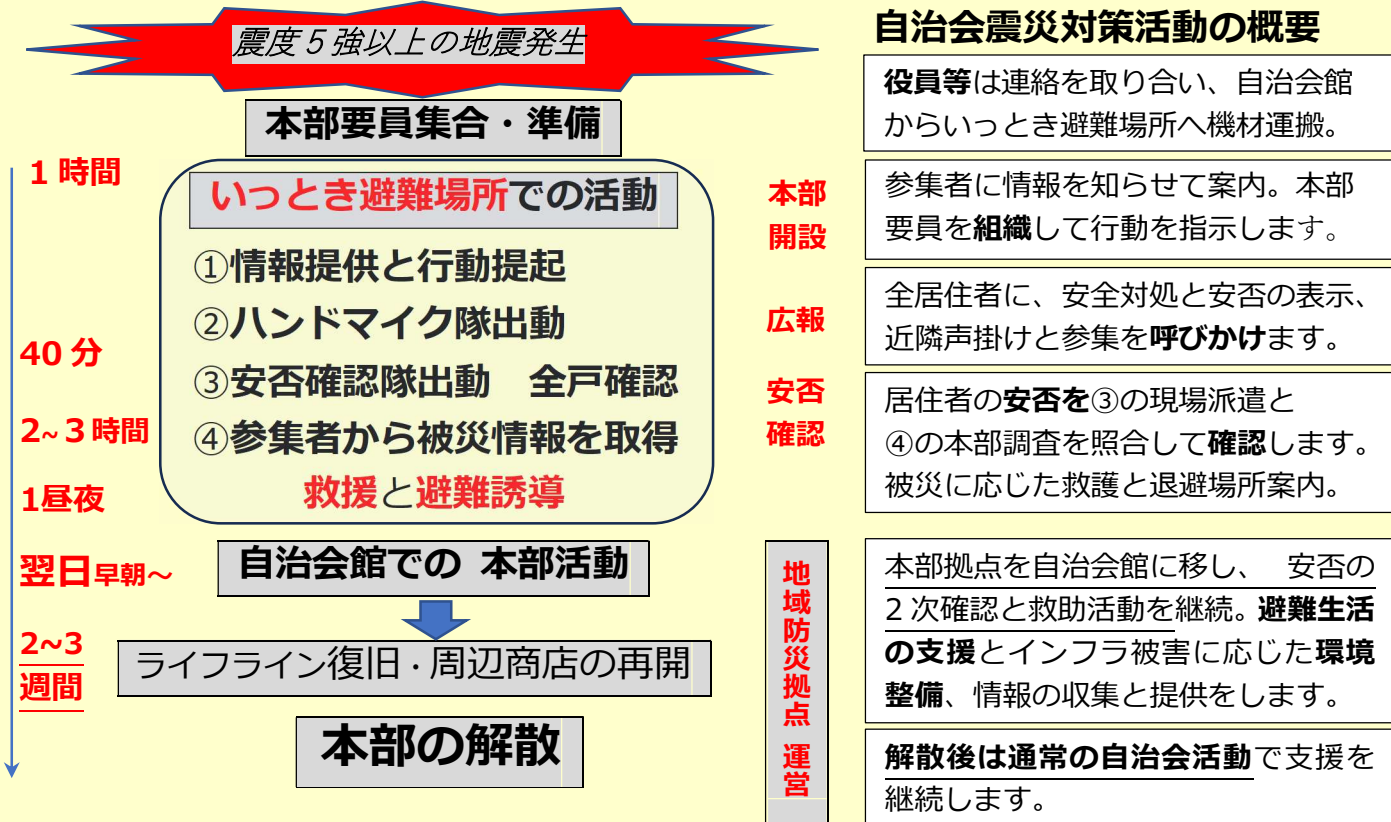


# 百合ヶ丘ハイツ自治会震災対策活動マニュアル

改訂 2023年10月12日

横浜で震度 6 弱程度の地震発生確率が 30 年以内に 85%とされています。 3.11 大震災直後に作成した「自治会震災対策本部運営マニュアル」は、その後の変化（減災技術の向上、避難常識の変化、自治会の経験蓄積等々）を踏まえ、今般「活動マニュアル」として改訂いたしました。 震災時に自治会員が命を守り共に助け合えるよう、自治会の対策活動を示します。 昨年発行した「地震防災マニュアル」と共に、ご家族で理解を深めてください。

## 1. 本部開設から解散までの流れ



## 2. 本部の構成・規模と分担

本部要員は、自治会役員・評議員、マンション管理組合役員、参集者有志で構成され、下記の班・隊に所属して行動します。

本部長 (自治会長)	本部の開設・解散 本部運営会議を1日1回以上招集 防災拠点(避難所)との連絡調整 名簿・鍵管理	発災時に自治会長不在の場合は 副会長→防犯防災部長→災害対策委員で対応	
庶務班	本部総合調整 地域防災拠点との調整	地域防災拠点への報告まとめ (第1報、第2報、定期報告) 10人程度	
広報班	ハンドマイク隊 いつとき避難所参集と安否確認シート貼り出し 呼びかけ 協力要請 10人 (2人×5班)	情報収集・集約隊 活動データとりまとめ 5人	広報・連絡隊 提示・全戸配布 ホームページ掲載 10人
救出救護班	安否確認隊 各戸の安否をシートと訪問で確認 救助の要請 26人 (5班)	救助隊 負傷者搬送 要支援者見守 10人程度	救護隊 重傷者判定 避難所と連携 有資格者 数名
機材物資班	資材搬送隊 機材搬送 給水支援 屋外避難場所 廃棄物 10人程度	室内片付け隊 居住可能な部屋を最低1室 4~5人	防犯パトロール隊 昼夜定期的に 域内パトロール 2方面 5~7人

表示の色は、ピブス (ベスト) の色です。ゼッケンに班名を表示します。

### 3. 震災対策本部の活動

#### (1) 発災時の初動活動

震度5強以上が港南区で観測された場合、または地震被害が顕著な場合、**本部運営要員**は自治会館に集合し震災対策活動を開始します。 参集者に協力を求め倉庫に用意してある機材と資料をいっとき避難場所（八木第二公園）に運搬し、**震災対策本部**を設営して初動活動を行います。

#### これまでの自治会活動を活かす

##### ① 防災訓練

管理組合や消防団と連携して実施。多くの自治会員が活動を体験し、安否確認シート方式も浸透しています。

##### ② 研修参加

港南消防署主催の「家庭防災員研修」に毎年参加者を送り、防災意識と技術を高めた自治会員が増えています。

##### ③ 独自マニュアルの発行

「地震防災マニュアル」をはじめパンフレットの全戸配布により、自治会員目線の対策や、自治会独自の手法を解説して、日頃の防災意識を高め、震災対策活動への理解と協力を呼び掛けています。

##### ④ 発災に即応できる準備

活動用資料(名簿・手順書等)と災害対策用機材を、自治会館倉庫にまとめて保管。機材の追加調達も進めています。災害時要救護者を毎年把握しています。

#### いっとき避難場所では **イラスト参照** →→→

- 本部長と庶務班が**常駐**して本部が把握した**情報と活動内容**を参集者に**知らせ**、不安を和らげます。
- 参集者から、自宅と近隣の被害状況を**聞き取り**、救援が必要な居住者、危険箇所をあぶりだします。
- 参集者に協力を呼びかけ、**各班を編成**します。
- ハンドマイク隊と安否確認隊は、装備を整え、必要人数がそろった順に**出動**します。活動は、5つのブロック(班)単位で行います。隊と本部はトランシーバーで連絡を取り合います。
- **救助隊と救護隊を待機**させ、現場からの救援要請で出動し、搬送と応急対応をします。
- 自宅避難が困難な人を**一時退避**させ（シートや椅子、日よけ・テント等を用意）、段階的に地域防災拠点（永谷小学校）に**誘導**します。

#### 全域よびかけ

以下の枠色は、班員や隊員が着用する**ビブス**の色です。

**ハンドマイク隊**は、各班2人一組で分担エリアを2周して以下の内容呼びかけます。  
ケガ人はいませんか？助けは必要ですか？ 玄関の「安否確認シート」で知らせてください。非常ベル、大声でも助けを求めてください。 ご無事な方は、お隣に声をかけて、必ず八木第二公園に参集して、本部からの情報を聞いてください。 近所の被害や危険箇所を知らせてください。 救助や救援の活動に出来るだけ協力をお願いします。

#### 安否確認

#### 一次確認 を同時に実施

**安否確認隊**は各戸で、要救助者発見と救援連絡を目的に、**安否確認シート**を確認。（**負傷・要救援**）の方に（シート無し宅にも）**声**をかけます。

無事確認でシール裏返し 不明宅にシールを貼付

安否確認済み

**庶務班**は本部で、参集者に**被災状況等調査表**を配布し、家族と近隣の被災情報、周囲の危険箇所、当日避難先等を記入してもらい、本部の活動への協力を依頼します。

被災状況等 調査表 (いっとき避難所参集者が記入)

被災状況等調査表の記入欄が示されています。

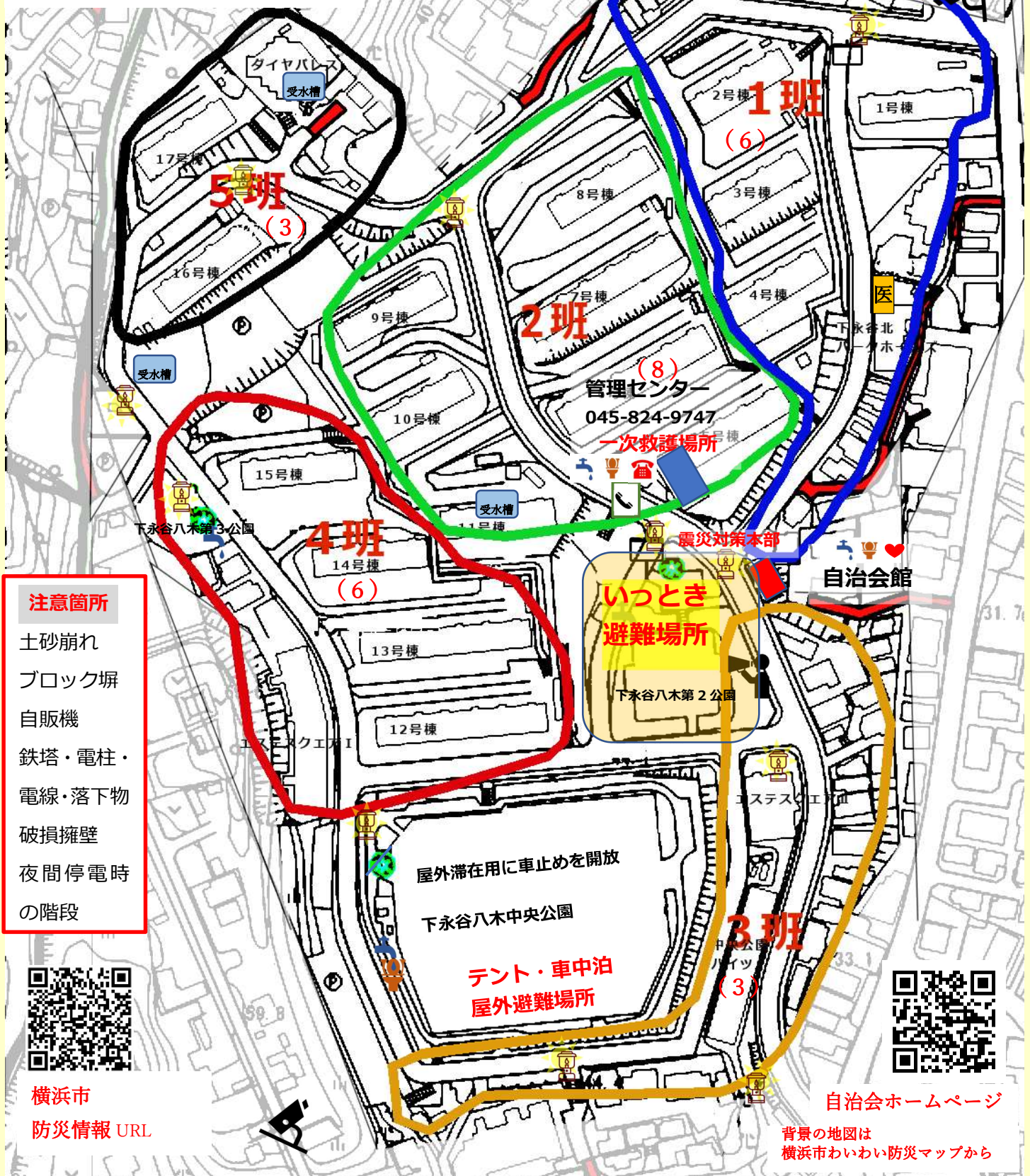


# 百合ヶ丘ハイツ自治会 防災マップ

地域防災拠点 永谷小学校 045-842-3939

広域避難場所 下永谷市民の森

528戸 502世帯 492自治会員世帯



### 注意箇所

- 土砂崩れ
- ブロック塀
- 自販機
- 鉄塔・電柱・
- 電線・落下物
- 破損擁壁
- 夜間停電時の階段

横浜市  
防災情報 URL

自治会ホームページ

背景の地図は  
横浜市わいわい防災マップから

**広報・安否確認の班分担** 1班 1~4棟 80.パークホームズ 16.戸建て 20.計 **116** 2班 5~7.9~11棟計 **160**  
 3班 エステⅡ 11.中央公園ハイツ 30.戸建て 16計 **57** 4班 12~15棟 100.エステⅠ 23.戸建て 3戸計 **126**  
 5班 16・17棟 40.ダイヤパレス 30.戸建て 5計 **75** 各班の人数 **広報班各2人 安否確認隊( )内**

**凡例** 避難不適道 ■ 臨時照明 掲示板 医院 公衆電話 AED トイレ 水道 防火水槽